



事務事業名	乳幼児健康診査事業	事務事業No.	10202000333	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和40年母子保健法の施行に基づき県が1歳6か月児健診、3歳児健診を実施。その後1歳6か月児健診は昭和52年より、3歳児健診は平成7年より、県から市町村に移譲され現在に至っている。1歳児健診、2歳児歯科健診は母子保健法第13条を受け、幼児の発達の節目の時期なので健診を実施している。令和2年度より、歯科健康診査・ブラッシング指導・フッ素塗布については医療機関委託となった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
各節目ごとに健診の機会があるということは、住民によりよい保健サービスを提供できるという事なので、受診率も高く保たれている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 発達、発育の早期発見をして、早期治療や早期療育につなげ、子育て支援や育児不安の軽減を図り、次世代を担う子どもが健やかに育つ体制づくりに結びついている。また、総合計画で掲げる「健康づくりの推進」にも結びつく事業である。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母子保健法に基づき実施している事業である。成長発達の著しい時期の乳幼児の健康状態を確認することで、保護者が安心して育児をすることが出来る。また健康診査時に様々な専門職種が関わることで、きめ細やかな対応ができる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 健診結果において、要精密や経過観察を要する児、継続したサポートを必要とする児も増えている。また、未受診者への電話や訪問等で受診勧奨していく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない 乳幼児期は発達が著しい時期であり、適切な時期に健診を計画する必要があるため、統廃合は難しい。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 医師や心理相談員等の専門職種の確保は健康診査の精度を高め、維持するためにも必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各健診の対象者全員に周知している。受診者には必ずブラッシング指導・フッ素塗布の希望を確認し勧奨している。また、未受診者については次回受診できるように配慮している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	歯科健康診査・ブラッシング指導・フッ素塗布は医療機関委託は継続とした。集団健診は、感染対策をし開催した。健診未受診者には通知、電話、訪問等で受診勧奨を行った。また、健診時の子育て相談は、育児不安やことばの遅れなど支援のきっかけとなっている。さらに、健診後には事後フォローのため電話連絡を行った。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 ➔ <input type="checkbox"/> 改革改善を行う ➔ <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 ①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>